

卒園・卒業 ねむいユニバースおめでとう。

ひと雨ごとに寒さがやわらぎ、少しずつ確実に、春が近づいてきていることを感じています。卒園・卒業されるお友達の皆さん、ご家族の皆さま、心よりおめでとうございませう。毎年この時期になると入学準備で悩みぬいて選んだランドセルの色をこっそり教えてくれる子や、実際にからって見せに来てくれるお友達も居て、皆と一緒に成長を喜び、お祝いをしていきます。慣れ親しんだ場所を巣立ち、新しい生活が始まる時は親子でドキドキしていたものです。絵本には幼稚園や学校の様子を描いたもの、お友達や家族との気持ちを描くものがたくさんあります。読みながら心の準備をしていきましょう。

元々中国から伝わった「五節句」のひとつと言われるひな祭りは、人形を川などに流して邪気を払っていたようで、その風習が残る地域もあります。福岡では水郷柳川のつるし飾り「さげもん」や歌舞伎や浮世絵の題材として手作りされた「おきあげ」「箱ひな」、炭鉱王や豪商に伝わるお雛様、質素倹約の時代の「紙ひな」など、特色豊かな雛飾りを楽しむことができます。そんな今日は、色紙で作った紙ひなが春風に飛ばされる絵本を子どもたちと読んでいきます。



『のはらの ひなまつり』

神沢 利子 作
岩村 和朗 絵
金の星社



ペンギンの知識 ペンギンの仲間達 121

☆ペンギンクイズ

大きな魚のミナミアオトラギスを好むペンギンは、何ペンギンでしょうか？



答え キガシラペンギン

魚のミナミアオトラギス1匹は、アカダラ35匹に相当しますが、なければ時間的制約がある繁殖期には手あたり次第に餌を捕り、腹を満たして急いで営巣に戻ります。



『ペンギン大図鑑』
デイビッド・サロモン作
出原速夫・菱沼裕子訳
ペンギン基金 河出書房新社



おすすめの絵本

3月のピブリオ・ラボでの展示は、「イタリア」「オリンピックの絵本」「雪と氷の世界」「冬のスポーツ」の4テーマで「スペシャルオリンピックス 冬季世界大会・応援絵本展」を開催いたします。

ふゆごもりの穴の中で熊のお母さんが双子の赤ちゃんを産みました。おっぱいを飲んで、くうくう寝て坊やは少しずつ大きくなります。「かーんかーん」「ほっほーほっほー」「しーん」「つつぴい」「つつびい」坊やが外から聞こえる音に耳を澄まして「なんの音」と尋ねるたびにお母さん熊が優しく安心させるようにこたえます。寒い冬から春へと向かう目覚めの森の様子を描きます。さあ、「ほとんほとん」は、なんの音でしょう。

司書 矢野 好美



『ほとんほとんは なんのおと』

神沢 利子 作
平山 英三 絵
福音館書店

“スペシャルオリンピックス 冬季世界大会・応援 絵本展”
3/2 ~ 3/31 開催!

